令和4年度

全国学力・学習状況調査の結果分析と考察

草加市教育委員会

令和4年8月

令和4年度 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の 学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を 図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等 に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改 善サイクルを確立する。

1 調査概要

- (1) 実施日 令和4年4月19日(火)
- (2) 調査対象 小学校第6学年及び中学校第3学年
- (3) 対象人数 小学校 21校 1,845人 中学校 11校 1,851人

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査
 - ・小学校6年生:国語・算数・理科 ・中学校3年生:国語・数学・理科
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

調査結果

1 小学校国語

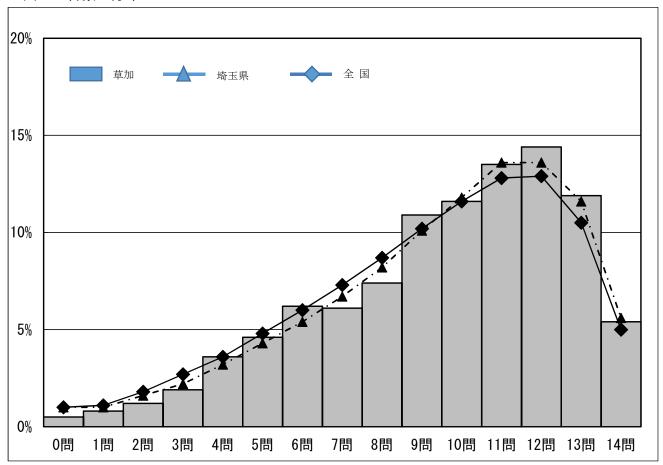
(1) 平均正答率の前回調査との比較

【小学校】

国語	令和3年度	令和4年度	対前回調査比較		
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R4-R3		
全国(公立)	64.7	65.6	0.9		
埼玉県(公立)	65	67	2		
草加市	66	68	2		
全国(公立)との差	1.3	2.4	O 1.1		
埼玉県(公立)との差	1	1	Δ 0		

O:向上した △:変化なし ▼:低下した

(2) 正答数の分布



正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

2 中学校国語

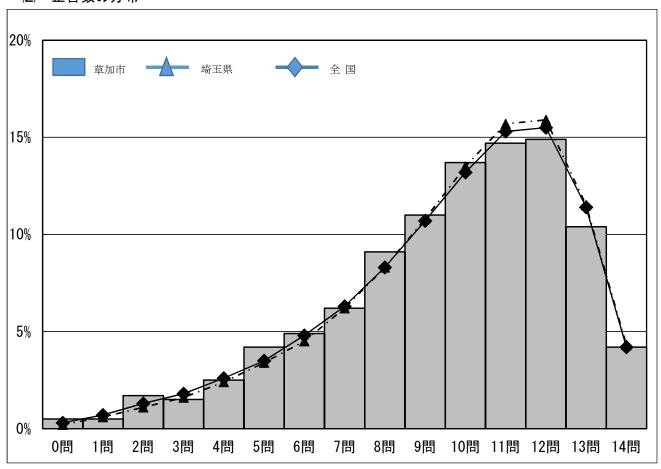
(1) 平均正答率の前回調査との比較

【中学校】

国語	令和3年度	令和4年度	対前回調査比較		
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R4-R3		
全国(公立)	64.6	69.0	4.4		
埼玉県(公立)	65	70	5		
草加市	65	68	3		
全国(公立)との差	0.4	-1.0	▼ -1.4		
埼玉県(公立)との差	0	-2	▼ -2		

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

(2) 正答数の分布



正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

3 小学校算数

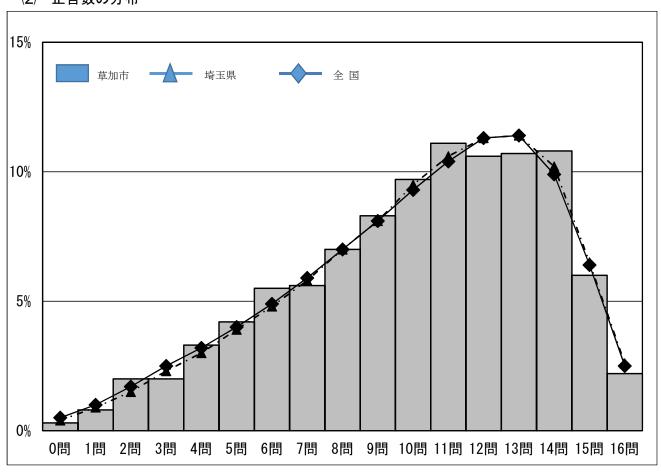
(1) 平均正答率の前回調査との比較

【小学校】

算数	令和3年度 令和4年度		対前回調査比較	
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R4-R3	
全国(公立)	70.2	63.2	-7.0	
埼玉県(公立)	69	64	-5	
草加市	70	63	-7	
全国(公立)との差	-0.2	-0.2	Δ 0.0	
埼玉県(公立)との差	1	-1	▼ -2	

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

(2) 正答数の分布



正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)

4 中学校数学

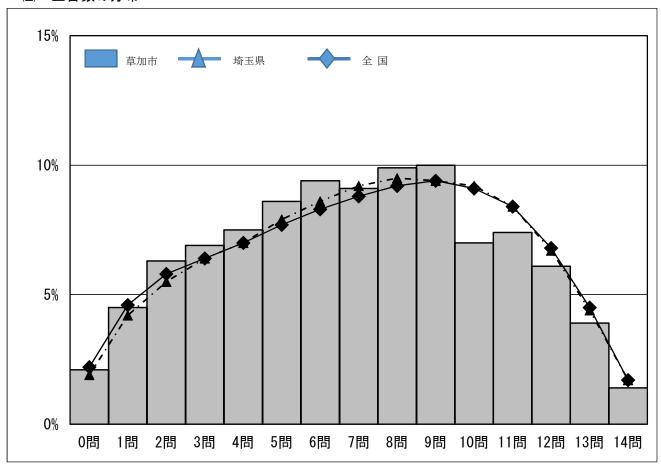
(1) 平均正答率の前回調査との比較

【中学校】

数学	令和3年度	令和4年度	対前回調査比較		
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R4-R3		
全国(公立)	57.2	51.4	-5.8		
埼玉県(公立)	57	52	-5		
草加市	56	50	-6		
全国(公立)との差	-1.2	-1.4	▼ -0.2		
埼玉県(公立)との差	-1	-2	▼ -1		

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

(2) 正答数の分布



正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

5 小学校理科

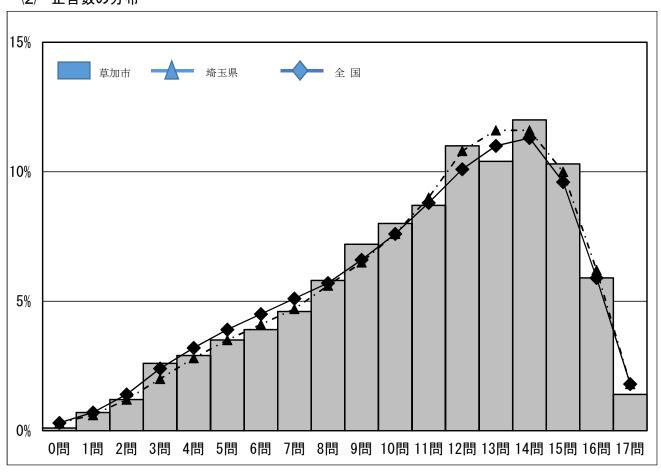
(1) 平均正答率の前回調査との比較

【小学校】

理科	平成30年度	令和4年度	対前回調査比較	
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R4-H30	
全国(公立)	60.3	63.3	3.0	
埼玉県(公立)	59	65	6	
草加市	57	64	7	
全国(公立)との差	-3.3	0.7	O 4.0	
埼玉県(公立)との差	-2	-1	O 1	

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

(2) 正答数の分布



正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)

6 中学校理科

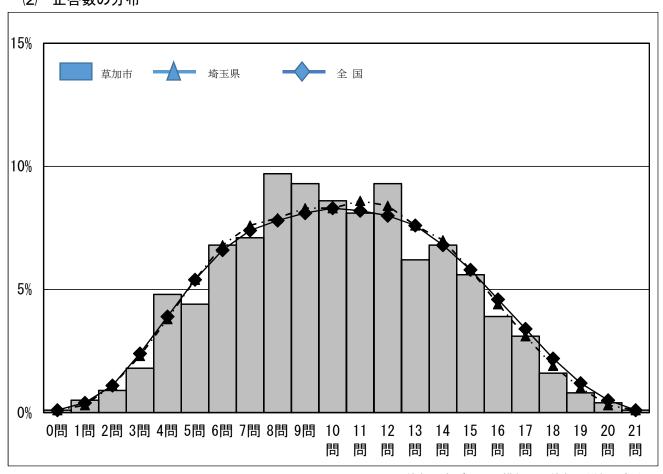
(1) 平均正答率の前回調査との比較

【中学校】

理科	平成30年度	令和4年度	対前回調査比較	
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	R4-H30	
全国(公立)	66.1	49.3	-16.8	
埼玉県(公立)	65	49	-16	
草加市	62	48	-14	
全国(公立)との差	-4.1	-1.3	O 2.8	
埼玉県(公立)との差	-3	-1	O 2	

○:向上した △:変化なし ▼:低下した

(2) 正答数の分布



正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

成果と今後の指導の重点(小学校)

教科	◎全体の傾向 ◇成果 ◆今後の指導の重点
	◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を2ポイント以上、県の平均正答率を1ポイント
	上回った。
	◎全国及び県との平均正答率の差を令和3年度と比較すると、全国では向上が見られ、県とは
	同程度であった。
	◎草加市の無解答率は、全国及び県の無解答率より全ての設問で低くなっている。
国語	◇話し言葉と書き言葉との違いを理解すること。
	◇必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること。
	◇人物像や物語の全体像を具体的に想像すること。
	◇漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
	◆互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。
	◆文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
	◎草加市の平均正答率は、全国と同程度であり、県の平均正答率を1ポイント下回った。
	◎全国及び県との平均正答率の差を令和3年度と比較すると、全国とは同程度、県とは2ポイ
	ント差が広がった。
	◇百分率で表された割合を分数で表すことができること。
	◇図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解しているこ
算数	ے <u>.</u>
	│◇示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断で │
	きること。
	◆伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記 述できること。
	º º º º º º º º º º º º º º º º º º º
	▼ 表の意味を理解し、主体と即分の関係に指出して、める項目に当たる数を不めることができ ること。
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	マール ロップ マース マー
	「つ」「□った。 ◎全国及び県との平均正答率の差を平成30年度と比較すると、全国とは4ポイント、県とは
	1ポイント向上した。
	・・・・・・・- ・・・
	の考えをもつことができること。
理科	○メスシリンダーという器具を理解していること。
	 ◇予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、
	自分の考えをもつことができること。
	◆実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述で
	きること。
	◆水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解すること。

成果と今後の指導の重点(中学校)

教科	◎全体の傾向 ◇成果 ◆今後の指導の重点
	◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を1ポイント、県の平均正答率を2ポイント下回
	った。
	◎全国及び県との平均正答率の差を令和3年度と比較すると、全国とは1ポイント程度、県と
□ =∓	は2ポイント差が広がった。
国語	◇聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫すること。
	◇漢字の行書の読みやすい書き方について理解すること。
	◆自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと。
	◆表現の技法について理解すること。
	◎草加市の平均正答率は、全国の平均正答率を1ポイント程度、県の平均正答率を2ポイント下回った。
	◎全国及び県との平均正答率の差を令和3年度と比較すると、全国とは同程度、県とは1ポイント差が
	広がった。
数学	◇多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解していること。
	◇データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができること。
	◆自然数を素数の積で表すことができること。
	◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること。
	◎草加市の平均正答率は、全国及び県の平均正答率を1ポイント程度下回った。
	◎全国及び県との平均正答率の差を平成30年度と比較すると、全国とは3ポイント程度、県とは2ポ
	イント程度向上した。
	◇日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用
	できること。
理科	◇モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できること。
<u>+±17</u>	◇実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善でき
	ること。
	◆飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他
	者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できること。
	◆考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定できる範囲と刻み幅の視点から実験
	の計画を検討して改善できること。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について【児童生徒質問紙調査】

【「草加っ子の基礎・基本」に関連する質問事項】

	65 BB 市 15		全国		埼玉県		草加市		R3
	質問事項	校種 	R3	R4	R3	R4	R3	R4	との 比較
	1 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで	小学校	95. 5	_	96. 3	-	96. 2	-	
	聞くことができる 	中学校	96. 5	-	96. 9	-	97. 2	-	
	2 話合い活動では、話し合う内容を理解して、相手 の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自	小学校	82. 6	-	86. 4	-	85. 5	-	
知し	分の考えをしっかりと伝えている	中学校	83. 7	_	87. 1	-	97. 1	_	
の 基	3 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組ん	小学校	78. 2	77. 3	81. 9	81. 7	80. 7	79. 0	
一礎	të	中学校	81.0	79. 2	84. 8	83. 3	82. 8	80. 5	
· 基	4 学校の授業時間以外に読書をしている時間(1日	小学校	61. 2	59. 6	62. 6	60. 2	63. 7	58. 4	
本	当たり10分以上) 	中学校	50. 1	48. 6	54. 6	52. 2	48. 4	47. 8	
	5 家で自分で計画を立てて勉強をしている	小学校	74. 0	71. 1	76. 1	74. 1	73. 0	71. 9	
	3 家で日ガで計画を立てて恩強をしている	中学校	63. 5	58. 5	65. 3	60. 3	62. 3	58. 3	
¬ ;+	6 自分には、よいところがあると思う	小学校	76. 9	79. 3	78. 0	82. 0	74. 9	78. 9	
徳」		中学校	76. 2	78. 5	76. 8	81. 2	71. 6	78. 8	1
の 基	7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと 思う	小学校	96.8	96. 8	96. 6	97. 0	96. 3	97. 2	
一礎		中学校	95. 9	96. 4	95. 4	96. 5	95. 3	96. 7	1
I · ·	・ 基 8 人が困っているときは、進んで助けている 本	小学校	88. 7	88. 9	89. 6	90. 3	88. 8	88. 7	
本		中学校	88. 5	88. 4	89. 0	89. 6	86. 4	88. 3	
	o ====================================	小学校	94. 9	94. 4	95. 5	94. 8	95. 6	95. 2	
	9 朝食を毎日食べている	中学校	92. 8	91.9	93. 0	92. 2	93. 6	-	
	10 毎日、同じくらいの時刻に寝ている	小学校	81. 2	81.5	83. 2	83. 0	84. 9	83. 6	
体	10 番口、回じていいのは炎川で極いい。	中学校	79. 8	79. 9	80. 4	80. 6	79. 1	81. 9	
の 基	11 毎日、同じくらいの時刻に起きている	小学校	90. 4	90. 4	91.4	91. 2	91.6	91. 4	
礎	・・ 中口、回していていて対交別に作りている	中学校	92. 7	92. 2	92. 1	91. 7	93. 7	93. 0	
· 基	12 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い	小学校	70. 1	71.5	68. 2	71. 1	69. 3	68. 9	
本	方について、家の人と約束したことを守っている	中学校	67. 9	69. 5	68. 7	71. 5	68. 4	67. 2	
	13 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにし	小学校	84. 3	87. 2	86. 1	89. 2	84. 3	88. 4	1
	ている		84. 2	86. 6	85. 9	86. 3	85. 5	83. 3	

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合(質問4は除く)〔%〕

:県平均を上回るもの : 前回調査比増

質問紙調査からの分析

草加っ子の基礎・基本に関する質問紙調査

7-//8		の 登院・ 登争に関する 負 回 帆 調 且
知	0	「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小中学校ともに全国平均は上回っているが、県平均は下回っている。
の 基 礎 •		ている。 「学校の授業時間以外に読書をしている時間(1日当たり10分以上)」について、令和3年度と比較すると低くなっている。
基 本	0	「家で自分で計画を立てて勉強をしている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、全国平均とは同程度であるが、県平均は下回っている。
「徳」の基礎・基本	0	「自分には、よいところがあると思う」について、令和3年度と 比較すると「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回 答した割合が、小中学校ともに高くなっている。 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」につ いて、令和3年度との比較、令和4年度の全国及び県の比較にお いても、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答し た割合が、小中学校ともに上回っている。 「人が困っているときは、進んで助けている」について、令和3 年度と比較すると「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」 と回答した割合が、中学校では高くなっている。
「体」の基礎・基本	0	「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」について、小中学校ともに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が県の平均を上回っている。特に、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」において、令和3年度から継続して9割を超えている。 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」について、令和3年度との比較において「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小中学校ともにやや低くなっている。 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」について、令和3年度との比較において「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小学校では高くなっている。